

# ふだん着の鎌倉

2009.1

## 暗い話題なんて吹っ飛ばせ！ 鎌倉ライフ一年のスタートは清々しく



携帯サイトでもご覧いただけます  
<http://itoday.jp/>

▶ PCの方は <http://kamakuratoday.com/>

さあ、新しい年がはじまります。ちょっと暗い話題が多かった二〇〇八年の秋から冬。今年はそのことを吹き飛ばして是非明るい年に！そこでまず今年世界各国でおこる新しい動きなどを見て心を明るくしてみましょう。

二月十七日、アメリカではアナログテレビ放送が停波、デジタルテレビ放送へ移行します。「地デジ」という言葉がようやく浸透し始めた

感のある日本では、二〇一一年七月に完全移行です。七月二十二日には、トカラ列島(奄美諸島から沖縄諸島あたりのことだそうです)で皆既日食が見られます。二十一世紀で最も継続時間の長い日食となるというからちょっとしたブームになるのではないのでしょうか。こんな不況の中、九月にはオイルマネーで潤うアラブ首長国連邦で高さ八〇〇m・百六十二階建ての超高層ビル「ブルジュ・ドバイ」が完成予定です。日本で一番高い高層ビルは横浜ランドマークタワーの約二九六m。ちなみに段葛が約四五七m。八幡宮前の三の鳥居から下馬の横須賀線のガード手前からくらいまでの長さが縦に伸びた感じの高さ…。とても想像できません。十月二日には二〇一六年の夏季オリンピック開催都市が決まります。二度目の東京はいかに。また、時期は未定ですが中国に世界最大のダムとなる三峡ダムが提唱から八十九年の時を経て完成しま

す。百年近いプロジェクトとはこれも想像の域を超えています。

未来に向けた様々な動きがある今年、さて一体どんな年になるのでしょうか？今回の「ふだん着」は、そんな二〇〇九年のスタートを飾るにふさわしい「鎌倉ライフ一年のはじめ方(?)」をご提案します。まずは…。

澄み切った青空。その下で包み込むような柔らかな表情で我々を見守ってくれている美男子。新年の始めに鎌倉の大仏様に会つと、気が引き締まると同時に心穏やかになってきます。奈良の大仏は大仏殿の中にいらつしやいます。鎌倉は露座。鎌倉の大仏殿は残念ながら津波や地震で倒壊してしまつたそうですが、今となってはこの「青空の下の大仏様」がとてもすがしく感じます。心穏やか、心晴れやか。是非新年の始めに大仏様にお参りしましょう。今まで大仏様の胎内に入ったことのない方はこの機会に是非。中に入って見上げると頭のツブツブ(螺髪)「らほつ」もしくは「らほつ」といいます)の内側を見ることが出来ます。ちなみに螺髪はいくつあるかご存じですか？(答えは文末)



参拝客で賑わう高徳院(2005年1月3日撮影)



もうひとつは銭洗弁財天。入口のトンネルを抜けて境内に入る…。何か別の世界に入ったかのような雰囲気味わえます。境内の中には小さな洞窟があり、その湧き水でお金を洗つと倍(十倍?)になって戻ってくると信じられています。正月や巳の日には商売繁盛や一攫千金を願う多くの人で賑わう鎌倉でも有数の観光スポットです。もともと銭洗弁財天は、天下安泰を願う源頼朝に、巳の年の一一八五年、巳の日の日の夜「この水で神仏を供養すれば天下は太平に治まる」という夢のお告げがあり建てられたと伝えられています。その後、北条時頼が霊水で金銭を洗い一家繁栄を祈つたことから今日の銭洗信仰が始まつたそうです。



また、正月というとおみくじがつきものですが、ここで売られているおみくじは扇子の形。小さいながらもきちんと開く、天晴れな扇に、運氣もきつと末広がりに間違いない！



【螺髪の数】鎌倉の大仏様は六百五十六個です。ちなみに奈良・東大寺の大仏様は九百六十六個。